

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市城東区東中浜二丁目十の十三 緑端グリーンハイツ1F  
一九八四年八月二十日第三種郵便物認可 毎日発行 頒価百円

**KSKP 障害者情報クラブニュース22**

**日本が社会権を放棄した年！？**

障害者情報クラブ 代表 坂上 正司

人権を考えるとき、「自由権」と「社会権」という二つのアプローチがある。「自由権」とは国家が人民の自由を拘束したり、権利を侵害してはいけない、つまり人民は国家から自由であることを意味する。「社会権」とは日本国憲法的一条文にもあるように「健康で文化的な生活」を送るために国家が保障すべきことを意味する。場合によると、日本という国は、先進国といわれる国の中で唯一「社会権を放棄した国」として歴史に名を残すことになる

かも知れない。そして、その発端となった年として二〇〇五年は語り継がれる・・・ということにしてはならない。

昨年、厚生労働省は「介護保険の対象年齢を二十歳までさげる」という名目で障害者福祉サービス(支援費制度)を介護保険と統合しようという議論を進めようとなりました。障害者福祉サービスの利用者数を読み違えたためです。昨年にスタートした同制度の利用者主体の考えた方が、結果として潜在的なニーズを喚起することになりました。もし介護保険に統合されれば、障害者のサービスは切り捨てられ、支援費制度によって漸く始まったばかりの障害者の地域生活への道は閉ざされます。

財界の強い反対で統合は見送られました。が、十月十二日に示された障害福祉施策の改革案「グランドデザイン(案)」、そしてそれに続いて年末に提示された三障害統一の「障害者自立支援

給付法」(仮称)は一見、障害種別の各法を統合し地域生活支援の推進を掲げていますが、その内容はサービスの切り下げ、利用抑制を主眼にしたものであり、到底納得のいくものではありません。このままでは重度障害者は地域で生きる権利を奪われます。

地域でサービスが得られず、自己選択、自己決定に基づく自立生活ができなくなり。施設に閉じこめられる生活を余儀なくされます。私たちは障害者福祉サービスの介護保険との統合に断固反対します！そして「グランドデザイン(案)」および「障害者自立支援給付法」(仮称)におけるサービス低下部分に断固反対します！



アド企画

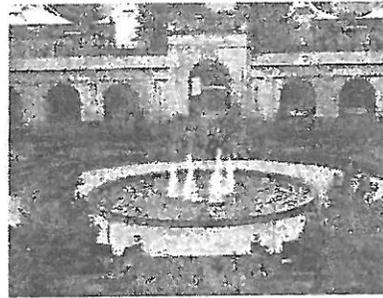
# フルーツフラワーパーク



フルーツ フラワーパークの感想文  
障害者情報クラブイラストアップ

堀口 礼子

フルーツ  
フラワーパークに、ハンド  
ブックの取材  
をかねて十一  
名で行きまし  
た。台風のた  
め、ぶどう狩  
りができな  
かったのと  
ても残念でした。



雨も降っていて、少し寒いような気が  
しました。フラワーパークは、広くて  
宮殿みたいな建物で池があり、噴水も  
あってその周りには、花がいっぱいで、  
遊園地もできていて、ホテルもあり、  
プールもありました。夜になると光輝  
いてムードもあるいいとこみたいで、  
是非一度、来たいと思いました。  
私には、少し不似合いかもしれませ

んが・・・こんなところで、現実  
から離れて一日、何にも考えなくて過  
ごせたら、いいのにな、とソフトクリ  
ームを片手に思いにふけていました。  
ぶどう狩りができなかったけど、おい  
しい焼肉も頂き私は、満足いたしました。  
た。

坂上さんと、今までとは違った会話  
もできて嬉しく思いました。それなの  
にお礼を忘れて、申し訳ありませんで  
した。

## ★フルーツフラワーパークに行って

障害者情報クラブイラストアップ

出羽 克一

小雨が、ぱらつく

あいにくの空模様だ

イラスト

より車でスタートし

た。先週は台風で心配されたが、なん  
とか葡萄がりができるものとおもいフ  
フルーツフラワーパークに到着したが、残  
念ながら中止の張り紙がはってあり、  
雨はあがっていましたが屋内行動に切  
り替えました。

昼はすこし早かったがパーベキューを

(おごりのパーベキュー)をいただき  
ました。またどこにいても人はまば  
らで私自身は見物しやすかった。ビー  
ル工場・チーズ工場などを見てまわり  
最後にみやげものコーナーにてみやげ  
ものを買って帰路についた。

障害者情報クラブイラストアップ

宮下 シゲ子

フルーツフラワーパークへ行って  
最初感じたのは、わあ、美しくて、  
綺麗なところだなあと思ったが、入  
ってみて広すぎて何がどこにあるの  
かわからない、みんなについて行く  
だけでやっとなかった。

ただただ

そう思って

まわって

たように思

うけど、今

度はゆっく

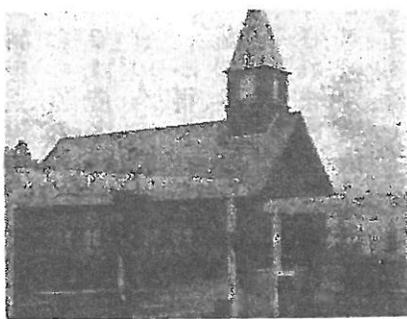
りじっくり

見に行つて

まわつてみ

たいと思っ

ています。



フルーツフラワーパーク感想文!

(Nさん)

お肉おいしかったですなー! うちがうちがう。台風のせいで、せっかくのぶどう狩りも中止で残念でした。でも、パーク内も曇りの為涼しくすごせ、ビール館やワイン館で各国の珍しいお酒を知り、大好きな植物も見学でき、満足でした。でも、やっぱりお肉がおいしかった。

感想

障害者情報クラブ員非常勤 石川

ぶどう・梨狩りが出来なかつたことでその分を館内見学に使いました。見学ルートはバイテク館、植木の販売所、フルーツのお土産所、ワイン館の順で見学しました。

バイテク館では、バイオテクノロジー



1、無菌室での品種改良等を見学でき、続いて歩いて行くと、植物を栽培している温室に続き、果物のお土産屋さんが出てきました。(他の場所にもお肉やワインなどのお土産屋の店舗もありました。)次にワイン館を見学し、皆さん1Fの試飲コーナーで試飲されていました。ワイン館は試飲だけではなく、世界の酒マップや、海外のビール、誕生月に対応しているカクテルの表、等が有り、2Fはビールの展示3Fは展望室(ただベランダには段があり車いすでは出れない)等がありました。前回下見で見えてきたブドウ、梨園は、下が土ながら水平で、一緒に下見に参加された土井さんや古谷さんからも出来そうだとOKが出てただけに、今回たよりやニュースで紹介レポートが載せられないことが残念でした。

フルーツフラワーパークに行ってみて

障害者情報クラブ員スタッフ

土井 克哉

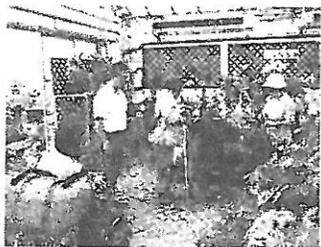
九月二日 ハンドブック取材「車いすで果物狩り」で、神戸市にあるフルーツフラワーパークに行ってきました。日曜日に台風十六号が日本海側を通

過して梨とぶどうが実際に狩れるかどうか分からないまま11センチターを十時に出ました。当日も朝からあいにくの雨の中を現地に着きました。実際に着いてみて案内の人に聞いてみると「台風の為に只今整備中ですので今日は果物狩りは出来ません」と言う答えでした。残念!!なので、急ぎよ予定を変更して先にパーベキューハウスで昼食をとることにしました。ファミリーストを四個頼んでいたのが果物が無くても相当のボリュームがありました。食べた後は、広い園内を見て回りました。多くの館は雨の



為か何もしていませんでした。温室だけはやっていました。私は温室内の売店で桃を買いました。

今度はこの施設もやっている時に行きたいと思いました。



# 「フルーツフラワーパーク」

## の感想

障害者情報クラブ・イルスタツフ

古谷かおり

九月の初めの平日、障害者情報クラブ・イルセンターのハンドブック取材で、スタツフそろつて(参加されなかった人がいたのが残念!)、「フルーツフラワーパーク」へ。十一名が二台の車に分かれて乗って行った。農業公園は交通の不便な場所にあるものなので、なかなか個人的には行く機会が持てなかったが、車で行くと、わりと時間もかからずに行きやすい所だなあ、と思



い敷地にあった。駐車場の横には新しくできたと思われる、「ミニ遊園地」が

った。

下見の日は、とても暑かった。

「フルーツフラワーパーク」内は、さすが、山の中で、広

ある。駐車場から見るテーマパーク風の建物とその周りの景色がとても明るくて綺麗だった。車を降りて、駐車場を抜けて、ゆるいスロープを通っていくと、テーマパーク風の建物の入り口に着く。

パーク内の案内などを読みながら、当日のことを相談した。

そして、勿論、パーベキューは当日までのおあずけで、お手頃の値段の軽食喫茶に入った。

そのあと、今回の目的(?)のフルーツ狩りのできる「フルーツガーデン」へ向かった。そこへ行くには、坂道をだいぶ下りていかなければならず、畑の中に入っていくにも、車いすの者には障害物が多かった。

そして、肝心の当日は、台風のあとの影響で、あっけなくブドウ狩りができない状態になっていた。またの機会には、ぜひ上手いくくと良い。

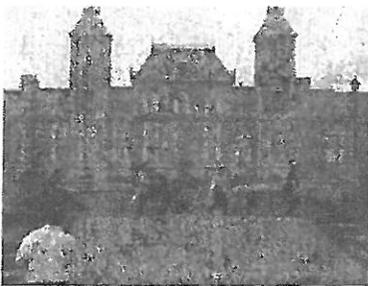
一番の目的だったブドウ狩りができなくなり、その分、私達はゆつくりとパーベキューを楽しむことになった。パーベキューにも当たり外れがあるが、ここのお肉はやわらかいし、味も良かった。お肉好きの私には、本当に「ごちそうさまでした」という感じだった。

そのあとは、「園芸バイテク館」、「温室」などの見学に行った。

珍しい植物があり、私は、「ジャックと豆の木」という植物に興味を惹かれた。

つるがどこまでも伸びていくののではないかと想像した。「ワイン・ビール館」には、ワインとビールのできていく過程の展示物があり、これで実際にお酒が造られていたら面白かっただろう。

「フルーツフラワーパーク」内は、バリアフリーを考えて、スロープがあり、一般のトイレがある場所には一ヶ所を除いて、身障者用トイレがある。でも、車いすでトイレに行くまでにはよつとした段差があつて、フラットになつていない場所まで行かなくてはなら



なかつたり、「ワイン・ビール館」では、エレベーターが一基しかなくて、狭く利用しにくかったり、バリアフリーが中途半端になつてい

うで、惜しい気がする。

この日は、下見の日とは反対に、寒くて、アイスクリームも食べる気になれなくて、残念だった。

### フルーツ・フラワーパーク感想文 障害者情報クラブフェリスセンター長

中山 君江

九月二日にフラワーパークに行きました。二日前の台風のためには、狩や梨狩りが出来ませんでした。

フラワーパークは障害者が大勢行かれていますのでバリアフリーになっています。残念でした。下見の時にどう狩りの

場所は職員のご好意で土井さんと古谷さんが、ぶどう棚の中に入れてもらえて、車



いす障害者でもぶどう狩りが出来ること喜んでいました。なかなか段差や交通のことで探していたのですが、認識不足で、フラワーパークでぶどう狩りが出来ることは知りませんでした。車で山本から出発して高速を使えば十分ほどで着きますし、下の道でも一時間かかりません。ただ電車での行き方

が、わかりません。もちろん車いすです。他の障害者は、比較的どこへも行けますが、山関係は、なかなか車いすは、行動できません。車いす障害者にぶどう棚に入ってもらいたい甘いにおいや新鮮なぶどうを自分の手でもぎって食べてもらいたくてフラワーパークに行きました。今年もう一度八月ごろ行ってチャレンジしてもらいたいと思います。そして、もっとみかん狩り、などもして楽しみたいです。

### 「私の生きがい」

吉田 薫

私は、電動車いすに乗る一級の脳性マヒです。なんとか右手でスプーンを持ち、普通の方で、十五分で食べられる食事を三十分かかって食べる状態です。

ぼくは、はんしん自立の家に入所して、来年で丸二十年になります。ぼくが書道や油絵、陶芸等、色々な作品を作るようになったのは、自立の家の中の同好会やサークルのメンバー募集を見て、「これなら自分でも出来そうやなあ」と思うものを選んで入り、少しずつその数が増えていく様になりました。

うちの理事さんに聞いた話ですが、以前の施設というものはロビーにテレビと新聞、囲碁、将棋等を置いておくだけで、それだけで良いという様なものだったらしい。



でも自立の家の本家で

あるイギリスのチェシャーホームをはじめられたレオナルド・チェシャーさんは、同じ一生を送るなら、もっと楽しい人生を過ごした方が良くという、精神から寝たきりの人生でなく、こういう色々なサークルや同好会等の活動をし、進められる様になった。

始めだして、まずビックリした事は、兵庫県民会館、県立近代美術館、京都市立美術館等、全国的に有名な所に出展できた事、それだけでもびっくりしているのに、もっと驚いた事は、チェシャー財団の世界大会の作品展で、最優秀賞をもらった事です。



考えてみると、国内では字の形や大きさ等、表面だけを見る事が多いので、ぼくたちの様

な手が超重症で、いがんだ形のものばかりできてしまうのは、ほとんど落選してしまふ。

しかし、イギリスでは、形だけではなく一生懸命の気持ちをくんでくれるという事なのでしょう。

最初、書道を書き始めたころは、書くたびに真黒けになったり、半紙が破れたりしましたが、慣れていくうちに自分では、うまくなっていると思っていなかったのが、評価されるようになってきた。油絵も学生時代に水彩を書いていた。書いている内に水たまりができたりにしていたが、油絵の場合とはえ、失敗しても、また上からきれいに書き、修正することができると、写真でみるより明るく書ける。

作品が増えてくると、ぼくらにもできる事があると嬉しくなる。今とても生きがいになっている。

# ぼくの生きがい

佐竹政弘  
平成十六年十二月二十二日(水)

始めまして、私は佐竹と申します。私は脳性マヒで車いすの生活をしている者です。ぼくが字を書き始めたのは、学校の先生のおかげなんです。一度漢字を書いてみないかといってくれたのです。

最初はマジックで書き始めました。枠から書き始め、木とか台とか簡単な字から習っていきました。

家でも、マジックを買ってきて、画用紙で練習しました。そして、学校の先生に見てもらって、次の漢字を教えてくださいという感じでした。

そして、書道もやってみなにか？と先生に言われたので、自立の家でも



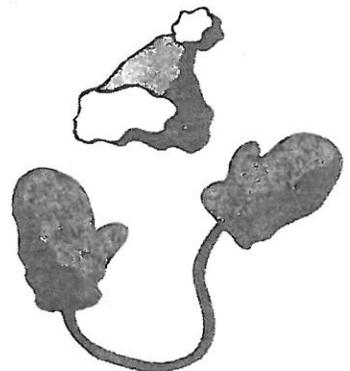
書道の先生を呼んでもらえる事になりました。

書道は、浜中町の展覧会や神戸新聞の展覧会に出品をし、

毎日のしく暮らしています。

学校の先生が自立の家にも絵の先生を呼んでもらいなさいと言われた。それで、油絵もやっています。油絵はいろんな風景や写真を使って先生に形をとってもらって、自分でやってみる、と手をとって教えてくれました。

習い始めて十年たって、先生からそろそろコンクールに出してみないかと言われて、世界中にある自立の家の美術コンクールに出展しました。「富士山」の絵です。そのイギリス大会で、三位になりました。びっくりしました。つぎに毎日新聞でも展示会がありそこに出品しました。これはどうせ落ちるだろと思っていたのに一位になりました。とてもうれしかった。ただ、賞をもらうのもうれしけれど、飾ってもらうと、いろんな人に見てもらって



の方がうれしいです。  
これがいまでは僕の生きがいなんですよ。  
みんなも使命や楽しみをもって暮らしてほしい。

### パソコン講習を終えて

期間 平成十六年五月十二日

平成十六年九月十二日

(毎週火曜日又は水曜日の一回)

講師 井上先生

受講生 堀口・古谷・土井・

出羽・筆記者

パソコンの講習をうけるにあたり  
少々不安と戸惑いがあった。



まるでトンネルのなかに入っ  
て、行先がわからず、かすかにはるか向こうに

希望のあかりがみえているそんな状態で講習がはじまった。(私だけがこんな気持ちです)

「星の王子様」

「川端康成」

「山上の垂訓」

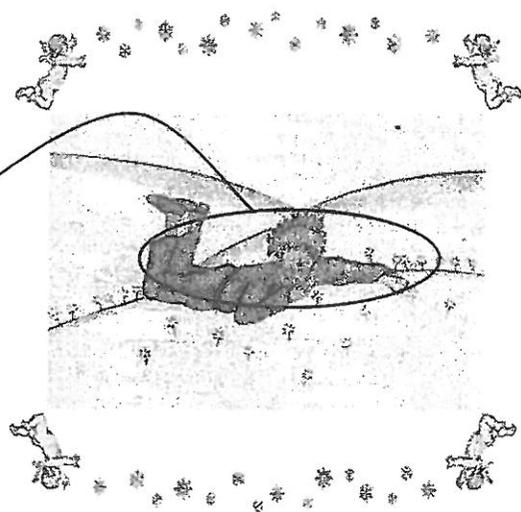
「Everry・Gearrt」

「Amazing・Grace」

「エクスポローラーについて」

「パソコンの基本について」

他三点を、順をおってならいました。



覚えられることを  
一つ一つ確実に!

講習は、先生がわかりやすく見本を示しながら説明をしてくれませんが、そ

のときは解ったつもりでも、すこしすると解からなくなり先生も、ほとほと手をやいていたように思われます。(昔はもうすこし理解力があつたように思われるがいかがなものであつたらうか・・・出羽の独り言)

覚えられるものより一つ一つ覚えていったつもりであるが心細いかぎりである。  
神様どうか見捨てないで



ここで講習の内容を一部紹介すると

- ・カーソルの説明
- ・パソコンの機能
- ・パソコンの基礎

の説明が順序よくあり、先生の説明にうっとりききほれていました。ほれるだけではだめで少しだけでも頭にたたみこまなくてはいけない。二つ覚えて

一つ忘れ、忘れながらもあとからついていった。

先生の言っている要点を、ノートにまとめて、残しておこうと思い、ノートにとりまとめをしたが後から見ると何を書いているのかわからない。ほとんど困ったものだ。自分で書いて何の意味かわからないのだから。



例メニュー(やりたい操作)

先生どうも長い間ご苦労さんでした。これからも私たちは、勉強をして少しでも先生に見習って突き進んでまいります。



先生の長い指を思い出しながらパソコンの講習をおえたいとおもいます。

# パソコン講座を終えて

土井 克哉



私たちは六ヶ月間パソコン講座を受けました。

家にもパソコンはあるので最初は、簡単なと思っ  
ていました。  
しかし、して

いる間に段々難しくなってきました。私は片手しか利きませんので、どうしても、ワードの文字を動かしたり、絵を書いたりすることが出来にくいのでいいなと思いましたが。これで楽になると  
など思いました。しかし習っているところ  
ほとんど私の分からないところが出て  
きました。例えばニュース用にするには、とか 色々習いました。

中でも私が一番習って良かった事は、「移動」と「テキストボックス」等の基本操作を基礎から習えたことです。基礎が押さえてないと応用も利かないし、出来ません。なんでも基礎は大事  
と思えますが特にパソコンは基礎がき

ちっとしていないと「ああして」とか「こうして」と言われても思ったようには出来ません。

今までは、何でも自己流でして分らない所は飛ばしていたからです。これからは何事にもチャレンジして行かないと進んで行かないしそれだけ自分に損になることに気が付きました。そういうことに気が付いただけでも講座を受けて良かったと思います。

二〇〇四年  
パソコン講習を受けて

古谷かおり

五月から九月の終わりまで、ＩＬセンターにおいて、利用者四名を対象に、パソコンの先生を招いての講習が始まった。毎週一回、火曜日、水曜日と交替で行われた。私は、出勤日の水



曜日は、出勤日の水

曜日のみしか、参加できなかったのも、他の人達より遅れを取るだろうなあ……という不安もなくなかったが、仕方がなかった。

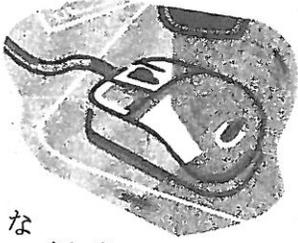
私がパソコンを本格的に始めたのは四月くらいで、プライベートでも習ってはいたが、初心者としては四苦八苦の状態だった。

時間的には、一回一時間三十分から二時間で集中した受講だった。

先生から、毎回、テキストを渡されて、そのテキスト通りに、編集をしただけでいい。

自分のノートパソコンを持ってきて、様々な編集の仕方を習った。

『ワードアートで文字の編集』、『罫線の引き方』、『曲線矢印の引き方』、『c、そして、『文書の打ち込み』は、ワープロを長年利用してきた私は省略しようと言われ(それなりに打ち込む時間はかかるというところもあり)、先生ご持参のソフトから文書を出して頂き、それを編集するという形になった。『図の挿入』も



ソフトから出してもらった。

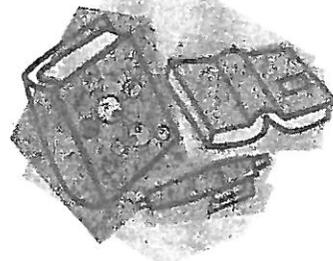
でも、いざ自分のオリジナルで編集する時には、どうするのだろうか？ インターネットから出すと言われても……？

この講座を受けていて、私がちょっと困っていたことは、習った操作の仕方を自分でメモに取れないことだった。パソコンのメモ帳の画面を出して、最初のう

ちは習った事柄を何とか打ってみたが、追いつけなかった。それで習った記憶を頼りに、復習する他なかった。

講座が終了し、「パソコン講座を受けて」の成果を試すための試験として、四名でページを分担して、「障害者情報クラブだより」の編集を行った。

私は、「表紙」と、「新年会のお知らせ」ということで、目立つようにレイアウトを考えた。挿絵を入れるのに、やはり四苦八苦した。原稿締め切りギリギリまで粘った甲斐があり、自身自身で意外と満足な原稿の編集ができた。



## 『パソコン講習でできる様になった事』

堀口 礼子

三度目の挑戦でやっと少しは、出来る様になりました。私が一番、パソコンで大変な事は、マウスでえらんだ所を固定が出来なくて、自由に使えない事でした。初めてパソコンをした時は、キーボードだけで教えてもらいましたが、それでもなかなか出来ませんでした。マウスも色々な形があるのも分かり、私が使い易いマウスにさせてもらったので出来るようになりました。マウスで出来る事で、スピードもあがり、楽になりました。

今回は、ファイル、編集、表示、挿入、書式、ツール、罫線、などを他、色々教えてもらいました。

たとえば、太字で字を書くとか、斜めで字を書くとか、下線を引くとかも出来ます。

字の色も選べたり、明朝体、ゴシック体の字で文章を書いたり、出来るようになったので少しパソコンが楽しくなりました。

オートシェイプの星、マークも書け、

絵も書けました。

三段目の絵は、パソコンで書いた、くだものです。何かわかってもらえるかな？

絵や写真の中にも、またその周りにも文字を書くことが出来るようになりました。

表なども書いて、それから、点字もパソコンで出来るようになりました。以前に比べると少しは成長できたかしら。

パソコンではもっともっと色々な事ができるそうなので私も、どんどん挑戦していきたいと思っています。

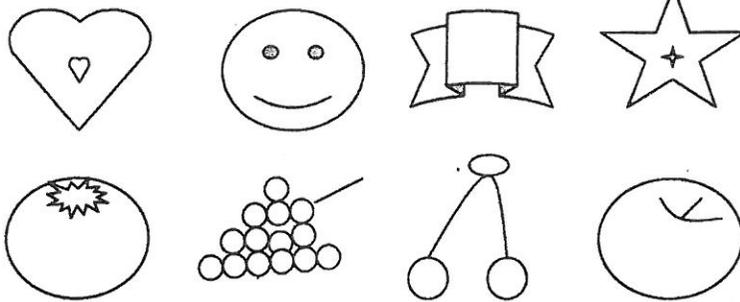
パソコンで行きたい場所を調べて、旅行に行ったりもできるそうなので、旅行にも行きたいです。また、メールもできるようにしたいです。

パソコンを理解できるように、自分のパソコンを手に入れたと思います。

パソコンを習い始めたときは、なかなか上手く文字を打つことも出来ませんでした。だんだんと上手になって、文章を書くことが出来るようになりました。ローマ字入力が出来たので、うれしくて覚えようという気持ちになりました。それ

で、「私にも文章を書いて、人に見せることが出来るかも」と思えるようになりました。

これからもパソコンを覚えたいです。がんばります。



## ボウリング大会

(どんな障害者でも出来るボウリング)

障害者情報クラブ非常勤職員 石川  
今年でボウリングも第八回を迎えました。年々参加者が増えております。やっぱり「大会」となっている以上、参加者も大勢の方に来てもらいたいものです。今回の参加人数は十九名で、内、障害をお持ちの方は十四名です。障害者も健常者も、もつと来ていただきたい、参加してもらいたいと思っています。

ボウリング大会はどんな障害者でも健常者でも参加できるように、わずかな力で玉を転がせる投球台+ガター無しと、ガター有り+台無しレーン。どちらかを選んでもらって参加してもらいます。

今回は、参加したいけど不安だな、僕にも、私にも出来るのかな？と参加を躊躇されている方に、ボウリングに使用する投球台について、参加された方からいただきました。掲載させていただきます。



です。簡単な説明ですが、公園にある滑り台のような物です。坂の手前にご自身で選んでもらったボールを置き、ちよつと押すと坂を転がっていきます。



簡単なんですが

台の方向や、玉の重さでちよつとずつ玉の動きが変わってしまうので、参加されている皆さんは、投球する時に、ちよつと右、いや左と楽しんでおられます。ご自身のカンや、計算でストライクをとられた時には、みなさん満面の笑顔で帰って来られます。

### ●次に参加者のメッセージ

(Iさん)

障害者情報クラブ主催のボウリン

グ大会に参加して、私が一等になりましたが、それよりも驚いたのは、障害者の方々がボウリングをするという事でした。三角台を使ってするというのも初めて知りました。これからも色々な行事に参加したいと思います。

(Dさん)

初めての参加でしたが、投球台をつかってうまく投げれました。皆さん和気あいあいというか、和やかな雰囲気でした。

(Nさん)

手で投げたのは三十数年ぶりでした。昔は溝掃除ばかりで困りましたが、今回は 溝掃除も無くうまく投げられた。なぜか、賞品のかかっている時はストライクだった。私は別



に狙ってなかったのに、娘はブービー賞を狙っていたみたいですが無理だった。

(Tさん)

毎回毎回楽しんでおられます。次回を楽しみにされています。一生懸命されている姿を見て、介助者として感動するばかりです。

ボウリングというものはちよつとした手のうごきで右に行ったり左に行ったり奥の深いものです

(Nさん)

ボウリングは楽しかった。私は介助者でゲームにも参加したけど、投球台があるから障害者の人達の方がすぐく上手で点数が良かった。とてもかなわないので、ブービーをねらっていたけど、思わぬ強敵が現れて、念願のブービー賞はもらえなかった。来年こそねらうぞ。ブービー賞!





(Hさん)

二回目の参加です。家族でゲームするより大勢の人達とゲームするのはすごく楽しいです。初めて障害者の人の投球台を見たとき「なに?コレ」と思ったけど、車いすの人が手で押したり、器用に足で押す人もいたり、棒を使う人がいたり、それもちよつとした向きをかえて微妙にストライク、ガターとできて、驚きました。

私も必死になっちゃいました。

又、参加してもいいかなあ・・・。

(?さん)

毎回楽しむ皆さんの顔を見ると、「いい企画だなあ」と思います。

投球台のおかげで、いろんな障害の方でもプレーできるし、是非是非沢山

の方に参加していただきたいと思えます。ゾーさん(投球台)バンザイ!!

(Nさん)

今回は子供も参加しましたが、途中から大人気なく子供とはりあっている私がいまいました・・・たけど

(Hさん)

初めてブービー賞をもらいました。親子ともども賞をもらえてうれしかったです。来年はもっと頑張ります。

(Sさん)

景品は大事に使わせてもらっています。二位はホンの実力です。Hちゃんにはどうにか勝てました。

(Kさん)

私は健常な時には、マイボール・マイシューズで週に一度位はボウリングに通う、言ってみれば、好きでした。しかし、障害者になってからはまったく無縁の世界になっておりました。が、しかし、障害者情報クラブ主催の大会を知ってからは毎回参加させて頂いて

います。

勿論、投球台を使用して転がすのです。でも非常に難しい。が、面白い。まだ、参加されてない方々。その、難しさ、面白さを体験してみてください。

企画担当 土井

結果は 一位 今井さん(健常者)

二位 坂上さん(車いす)

三位 瞳さんでした(子供)

賞品は皆さんのご協力によって集め

させていただきました。



今回の優勝者は健常者でしたが二位は車いす障害者が入りましたので、どなたにでも優勝のチャンスがある大会です。

もう少し投球台

の数が増えてくれたら、皆さんがハンデ無く、健常者も障害者もおなじ土俵で参加できる、そんな大会にしたいと思っています。ちなみに現在、投球台を使いたいという人の為に障害者情報クラブの寄贈の投球台が川西の「R O U N D 1」に1台ございますので、皆さ

んも一回、フロントの人に頼んで使ってみてください。けっこう自分の思っていたコースにボールを行かせる事は難しいですよ。



障害者情報クラブ  
I L センター スタッフ 土井 克哉

こんにちは 西宮で自立生活をしている土井克哉です。  
自立生活を始めて五年がたちます。私が施設を出ると言った時に親が何を心配したかと言うと私がしゃべれないことです。自立を成功させるには親を見方に引き込むことが何より大事です。話せない私にとって何が苦勞と言うと、夜とか非常の時のコミュニケーション

ヨンの取り方です。病気などで急に人を呼ばないといけないなくなった時、どうやって呼ぶのか、自立する時に親にも、施設の職員にも、訊かれました。私と親はある決め事をしました。それで施設の職員にも伝えました。何かと言うと電話の時、私が一回受話器をたたくとイエスのサインで、二回たたいたらノーのサインだと言うことです。私と親の会話は例えば親が「病気か」と聞いて、元気な時は二回受話器をたたいてノーのサインをします。そのことが伝わって僕との対話は、質問をしてくれるのに一回か二回受話器をたたいて答える方法に変わりました。私達の頭では付いていけない制度がどんどんでてきました。出てきた制度で私たち重度の障害者の生活が楽になるのでしょうか。



者のおかげなので人のつながりは大事です。

## バザー御協力ありがとうございました

### ごさいました

障害者情報クラブ I L センター 長

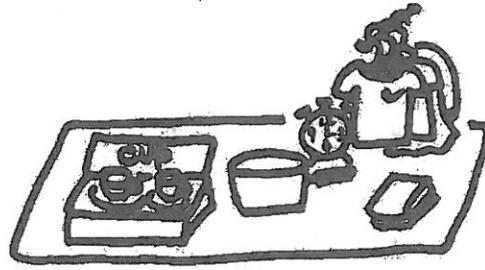
中山 君江

十月十日のアピアチャリティーバザーと十二月五日の障害者の日の啓発コーナーでのバザーが、無事終わりました。バザー用品の御協力を頂きました皆様、本当にありがとうございます。心より御礼申し上げます。おかげさまで無事にふれあいながら販売させていただきました。

アピアでのバザーは九日が台風二十二号の接近のために十日に順延してバタバタしましたが、日曜日でしたので活気があり、よく売れた方でしょう。本日に2004年は台風やら地震やらで大変な年でした。十二月の障害者の日は、宝塚駅前のソリオでした。この日も前日は台風の変なぐずれかけの天気で、関東方面は風がきつく交通がひどく乱れました。関西も風がきつかったですね。そのあとが夏日で、十二月とは思えませんでした。今後大き

な災いがこないように祈ります。

2003年度のバザー売上金は、障害者情報クラブの「横断幕」と、障害者情報クラブILセンターの「のぼり」五本を



作らせてもらいました。きれいな出来上がりでよく目立ち皆さんに好評です。

2004年度の売上金は、どんな重度の障害者でも楽し

くボウリングが出来るボウリングの投球台を作ってもらおうと思っております。すでに二台あるのですが、年一回の障害者情報クラブ主宰のボウリング大会に、参加者が増えてとても足りません。あと三台ぐらいは欲しいので作らせてもらう計画です。本当に皆様御協力ありがとうございます。また2005年度のバザーにも御協力よろしくお願いたします。

## 脳卒中ドタバタ奮闘記

(その2)

障害者情報クラブ  
ILセンタースタッフ

出羽 克一

平成十六年十二月七日(火)

協立温泉病院での入院生活がはじまった。入院生活はたのしいものでした。(私だけがたのしんでいるようだ。)たくさんの友達ができ、その中でも特になかがよかったのは是久さんでした。その当時、年は九十歳で話しをしていても頭はすっきりして私よりもはつきりしていました。長老の習字の先生でした。その門下生が絶えず見舞いに来ていました。年の頃は四十五歳から五十歳くらいの女性の人であった。まるで私に会いにきてくれてるかのような錯覚におちいっていました。

つぎにしたしかったのは、その当年は六十五歳の人でした。毎朝新聞を自分のお金で買って来てくれたていました。今頃どうしているのかな、病院をかわったのかもしれないな。主治医は女性のかたでした。リハビリ

も私のそばまできて何回か見にくらえていました。

なによりもきれいにみえたのは、たけのこを毎日食べたような長身のリハビリの先生、身長1メートル75センチメートルの女性のかたでした。

新婚でした。私の担当以外でも一、二名きれいな人がおられました。(先生がたは女性ばかりです。)



女性があんなにきれいにみえたのも視野がせまかったのかもしれない。いや、見る目が、あったかもしれない。

私共の部屋の人数は六人でした。看護婦(看護夫)さんは私共の担当は六人です。それに看護助手五名です。よばないかぎり午前中二回と午後二回のみまわりだけです。(兼任で急がしそうにうごきまわっていた。)毎日リハビリのことをわすれるくらいたのしいものでした。

彼女もでき、あばたもエクボのうちとかで結構たのしんでいました。その



車いすの生活がいやになつたわけではないが、このままではいけないと思  
い、入院生活ともお別れして自宅のリ  
ハビリにかわつた。  
平成十四年十二月二十三日に自宅に凱  
旋した。

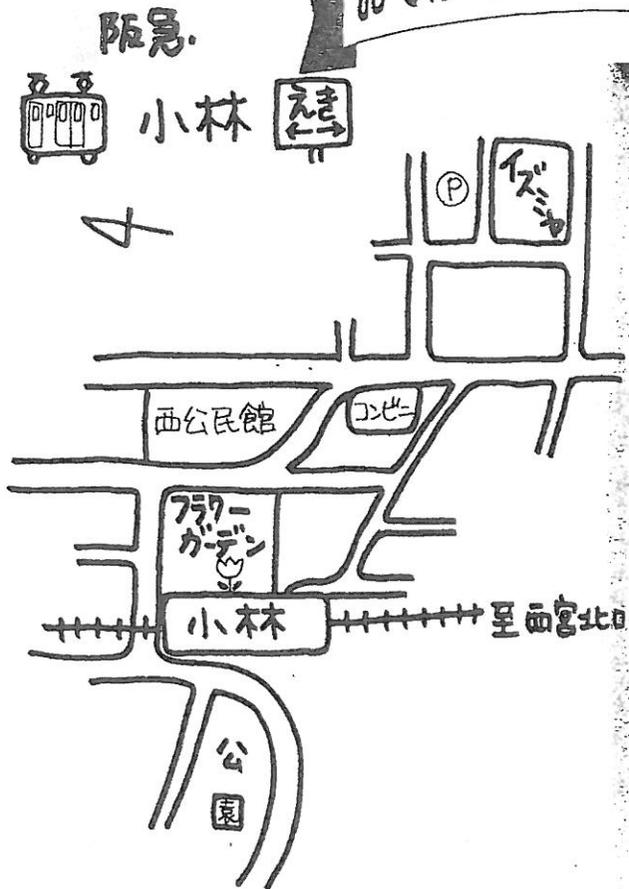


人は、年は五十二歳、私とおなじ病氣

で私の後から  
ついてきてい  
ました。住所  
もおしえたが  
妹に手紙を代  
筆してもらう  
からといった  
まま返事はい  
まだにこな  
い。

## おでかけ安心！情報マップ

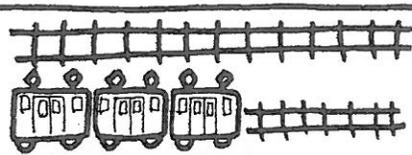
トイレマップ



### 構内

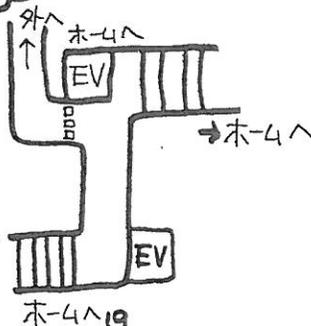
1Fホ-4

EV 2階へ 宝塚方面ホ-4



20-70 2階へ EV WC

### 2F



**西公民館の自動販売機をご利用ください**

宝塚市立西公民館(阪急今津線小林駅から徒歩2分)の3階・レクルームBの前に設置されている大塚製菓の自動販売機は、管理のジャパン・ビバレッジ(旧:ユニマット)のご協力により収益の一部が障害者情報クラブの運営費として1994年4月より寄付されています。しかし、3階のわかりにくい場所におかれているため、なかなか売り上げがあがらず、収益が伸び悩んでいます。みなさん、西公民館をご利用のおりには、是非、大塚製菓の自動販売機をご利用いただき、当クラブを応援して下さい。

**編集後記**

金岡 幸二

皆様しばらく振りです。お元気にされておられましたでしょうか。

昨年は、日本のみならず、海外でも自然の驚異をまざまざと見せ付けられた一年でした。スマトラ沖地震による大津波は大勢の犠牲者を結果として数える事になりました。

思い起こせば、私共阪神地区に住む者には十年前の「阪神大震災」の記憶が昨日の如く蘇えます。

さて、我々身障者にとっては、益々厳しくなってくる昨今です。あらゆる情報を漏らさないように、たえずアンテナを張ってキャッチして下さい。



**障害者情報クラブニュース**

編集者 障害者情報クラブ編集部 金岡幸二・古谷かおり

編集責任者 障害者情報クラブ事務局長 坂上正司

所在地 〒665-0816

兵庫県宝塚市平井2丁目1番10号ハイツ・エフ・オー 205号

障害者情報クラブ事務局

障害者情報クラブILセンター

TEL&FAX 0797-82-2233

EMAIL [sjcil@f8.dion.ne.jp](mailto:sjcil@f8.dion.ne.jp)

郵便口座 14360-43110611 障害者情報クラブ

銀行口座 三井住友銀行 逆瀬川支店 普通 3566211

障害者情報クラブ

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪府城東区東中浜二丁目十の十三 緑端グリーンハイタワー アド企画  
一九八四年八月二十日第三種郵便物認可 毎日発行 頒価百円